

一般社団法人 日本循環器学会主催

第14回 循環器専門医を志す 研修医のための卒後セミナー

現場を支える
循環器医に贈る
スキルアップ講座

参加者の約8割は
卒後2~3年目の先生です。
患者を一人でも多く救命するために
どうすれば良いか講師、
チューターと一緒に議論しましょう!

来たれ! 未来の循環器医!



毎年開催しております日循卒後セミナーも今年で第14回となりました。本年も小人数グループによるディスカッションを軸に意欲的なテーマを設定いたしました。

定評のあるチューター陣によるバックアップがありますので、どうか皆さん奮ってご参加ください。

※セッション内容につきましては事前にメールにて資料をお配りします。

外科・内科問わず、循環器診療に携わる
又は興味がある全ての若手の先生方が
対象です!

昨年の参加者の声

アンケート結果より抜粋

- 外来の風景を思い浮かべながら議論できました。
- 臨床に即した内容で大変勉強になりました。特にCHADスコアやHASBLEDスコアなど、実際に自分で悩んだ経験のある症例も取り上げられていて良かったです。
- CABGとPCIの治療選択については興味があったので勉強になりました。
- 自身のキャリアプランにおいて参考になりました。
- 内科、外科両方の話が聞けて面白かったです。
 - 今後TAVIの拡大においてしっかりと適応を考えるよう参考になりました。

日時 / **2018年7月22日(日)**

10:00~16:00 (9:30受付開始)

会場 / 千里ライフサイエンスセンター (大阪府豊中市)

参加費(昼食付) / 会員3,000円、非会員5,000円

募集人数 / 70名 申込順

締切予定 / 7月6日(金)

企画: 日本循環器学会 教育研修委員会 卒後セミナーワーキンググループ

(志賀 剛、尾野 亘、香坂 俊、里見 和浩、田端 実、中川 義久、西原 崇創、真鍋 晋、池村 修寛、久保 亨、鈴木 敦、中島 育太郎、水野 篤、矢加部 大輔、山地 杏平)



● プログラムの詳細・参加のお申し込みは、日本循環器学会ホームページ・ピックアップコンテンツ「第14回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーのご案内」からお申し込みください。

● お問い合わせ: 日本循環器学会事務局 教育研修委員会

TEL: 03-5501-0861 FAX: 03-5501-9855 E-mail: j-kyoken@j-circ.or.jp

第14回 循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナー 来たれ！未来の循環器医！

現場を支える循環器医のためのスキルアップ講座



Ice Breaking：西原 崇創先生

40分

「循環器といえば、心電図！ 玄人な読み方教えます！」

循環器といえば心電図ですが、心電図は苦手という人も多いはず。そんなあなたにクイズ形式で玄人の目の付け所、読み方を内緒で教えます。これだけでもセミナーに参加した甲斐がありますよ。

午前のセッション：水野 篤先生、矢加部 大輔先生、鈴木 敦先生、中島 育太郎先生

90分

「油断大敵！急性心不全」

座長：池村 修寛先生

演者：水野 篤先生、矢加部 大輔先生(前半45分)

急性心不全の患者の診療、マネジメントに困った事ありますか？今はいい時代になりました。ガイドラインも整備され、心不全なんて簡単にマネジメントできていることと思います。しかし、油断大敵です。油断した時にこそヤバイ心不全がくるのです。(時には)熟練した循環器専門医でさえも、診療に困る心不全が存在します！プレゼンターが年末年始病院に寝泊まりしてなんとかマネジメントに成功した症例を提示します。Case discussionを通して追体験し、みなさんと一緒に悩み、勉強しませんか？

「本当は怖い失神」

座長：久保 亨先生

演者：鈴木 敦先生、中島 育太郎先生(後半45分)

失神は循環器診療において、しばしば遭遇する症候ですが、我々は正しく患者さんを導いているでしょうか？反射性失神の様な良好な起点をとる病態から死に繋がる兆候を示唆するものまで、「決して見逃してはならない失神」を皆様方と共有したいと思います。

ランチセミナー：里見 和浩先生、田端 実先生、西原 崇創先生、矢加部 大輔先生、山地 杏平先生 35分

「なぜ循環器医になったのか」

座長：中川 義久先生

本日この会場で指導している講師陣が循環器医を選択した理由になにか？その選択は正しかったのか？自らの経験をもとに、循環器医の遣り甲斐と苦悩を赤裸々にリレー形式で語ります。皆様のキャリア形成にも役立つヒント満載です。講師陣の告白に引き込まれるあまり、ランチを食べ忘れないようにご注意ください。

午後のセッション：田端 実先生、真鍋 晋先生、山地 杏平先生

110分

「初めての循環器内科当直、ACLSで蘇生した後にコンサルトされたら」

座長：香坂 俊先生

内科：山地 杏平先生

外科：田端 実先生、真鍋 晋先生

研修医として一通りのローテートを終え、循環器内科・外科を志望し初めての循環器内科当直。救急外来へ心肺停止で搬送され、優秀なコメディカルと一緒に、AHAガイドラインに基づいてACLSを行い、無事心肺蘇生に成功。循環器内科医として大活躍し、テンションはあがったものの、まだまだ血圧は不安定で今にも心臓は止まりそう。親切な上の先生は、いつでも呼んでねと言ってきていたものの、呼んだところで、すぐには病院に到着しない。さて、これからどうしよう？画像診断からその治療まで、実際の症例をもとにシミュレーション！

Basic Science Lecture：

50分

「全身・全脳透明化の先に見えるもの」

座長：尾野 亘先生

演者：上田 泰己先生

今回ご紹介するCUBIC法とは、マウス全身を透明化することで、体まるごと、すべての細胞を見えるようにする方法です。また、そのイメージを使って、各組織の細胞活動の変化を比較することもできます。体の全細胞の解析は、これまで想像すら出来なかった細胞と個体のつながりを示せる画期的な方法です。百聞は一見にしかず！ここで見た知識を応用するのはあなたです！